



第1129号
2009年6月28日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代祷・信施奉献先
▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・14)▽沖繩教区のため▽沖繩週間(6・21〜27)▽エリザベスサンダースホームのため
《奉献先から》
エリザベスサンダースホーム

現在、2歳から18歳まで百人；、親から虐待を受けた多くの子どもたちやその他の理由で親元を離れた子どもたちの施設です。この3月に百名中60名分の新しい施設が完成しました。今までは、築50数年の古い、狭い、オンボロの部屋でしたが、広い温かい雰囲気の木造2階建ての造りです。将来の日本を背負って立つ、

大切な子どもたちです。誰でもそうですが、やはり生活空間のゆとりは大切、殊に心身共に成長期の子どもたち、とくに、心に傷をもつ子どもたちには必須の条件といえましょう。来園下されば、子どもたちの嬉々とした姿に出会えます。
(理事長・司祭 小笠原忍)

◆とこしえの平安

6月5日	村井みどり	聖十字
6月7日	久野 和彦	(63)
6月8日	大道 次子	(88)
6月8日	三澤 睦子	(70)
6月12日	黒川 憲一	(93)
	聖アンデレ	

今週・来週の予定
6月28日～7月11日

- 28(日) 聖霊降臨後第4主日
主教巡回
阿佐谷聖ペテロ教会
- 7月
- 2(木) 下町G牧師協議会
(聖ルカ)
- 3(金) 事務所職員会議
- 5(日) 聖霊降臨後第5主日
主教巡回
聖テモテ教会
- 6(月) 正義と平和協議会運営委員会
- 7(火) 聖職養成委員会
- 10(金) 広報委員会
エルサレム協働委員会
- 11(土) 正義と平和協議会講
演会・協議会
(聖アンデレ・教区会館)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

『わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。』
イザヤ書43章4節・新改訳

身体が丈夫でなく、暗く、「いじめ」を受けたせいで人間不信に陥り、とても自己評価の低いローティーンには、このイザヤ書のみ言葉と、高校の先生方が、耳にタコができるほど語って下さった「神様はあなたがどんな人でも、かけがえない存在として認め、愛し、受け入れて下さる」という言葉によって、目の前の闇がはれていくような気がしたものです。人にどのように言われようと、孤立無援になろうと、神様だけ私から目を背けられることはないのだと分かった時の喜びは、その後、何もかもかえがたいものとなって、私の中に深

《み手のなかで》
あなたは愛されている

執事 佐久間恵子

く深く刻まれました。そしてさらに、神様がこのようにもろく、無力な私をも教会の奉仕職として用いて下さっていることに感謝の思いでいっぱいになります。
しかし今、社会は私たちに、なお一層の厳しさや悲しみや、不信や孤立を押しつけてきます。壊れやすい心を抱え、社会の中でとても生き難い思いをしている人も少なくないはず。「私なんか必要とされていない」「私なんか消えてしまえばいいんだ」そんな風に思っている方がいたら、是非、このイザヤ書のみ言葉を受け止めてほしいと思います。神様は、私たちがから目を背けられることは絶対にないからです。

『わたしの目には、あなたは高価で尊い。』
(東京聖マリア教会牧師補)

▽正義と平和協議会主催講演会・協議会 本田哲郎神父(カトリック・フランシスコ会司祭)釜ヶ崎反失業連絡会共同代表)による講演(愛することより大切にすることを選びたい)と、引き続きの協議会(7月11日(土) 14時・16時よりそれぞれ聖アンデレ教会聖堂および教区会館3階で。講演会聴講料500円(当日受付で・事前申込不要)。照会(教区事務所足立宣教主事宛)。

▽「障がい者」関連活動連絡会主催(お話を聴く会)⑯ 11日(土) 11時～15時、聖バルナバ教会で(昼食共)。第一部「わたしの歩んだ道」(講師・山崎雅紀(聖ルカ礼拝堂信徒)、第二部「あなたは、あなたでいいん

だよ」の声を聴いて」(講師・橋本克也司祭(松戸聖パウロ教会)。参加費500円(他に昼食代500円(希望者)。照会・連絡先 Ⅸ042(371) 8390・小林実務委員)。

▽日本聖書協会(春の聖書セミナー)詩篇と祈り⑳ 4日(土) 13時半～15時、銀座・教文館9階ウェンライトホール。「日本聖公会の礼拝における詩編」(講師・加藤博道主教(東北教区)。受講料2千円。申込 Ⅸ03(3567) 1995)。

▽聖路加国際病院礼拝堂「夏の祈り」 1日(水) 18時半オランダ演奏に引き続き19時から。演奏者・佐藤礼子。入場無料(会場献金)。

【クローズアップ】19

韓国スタディツアーに参加して

日本聖公会正義と平和委員会日韓協働プロジェクトの主催による日本聖公会第1回韓国スタディツアーが、6月8日から12日4泊5日の日程で行われました。2004年の日韓聖公会宣教協働20周年大会で、「社会宣教」活動に関する交流は課題のひとつに挙げられており、それを受けての開催となります。今回の参加者は10教区12人(聖職7・信徒5)、団長の管区宣教主事ほかスタッフ3人、現地参加の2人を加え総勢17人。東京教区からは前田良彦司祭と。また大韓聖公会社会宣教部の李デソン司祭が終始、同行しお世話く

ださいました。

ソウル市内に宿泊、南揚州(ナムヤンジユ)教会や蘆原(ノウォン)、奉天洞(ポンチョンドン)の「ナヌメジップ(分ち合いの家)」などを訪問、それらを中心に展開された活動の広がりを取り組みについて伺い、またフードバンクの「おにぎりコンサート」(PRと資金集めの活動)、野宿者のための支援・宿泊施設「タシソギ(再び立つ)・センター」などの活動に触れることができました。

外国人労働者、障害者、野宿者、青少年、貧困などさまざまな分野での取り組み、またシェルター、学童保育、食堂・給食、医療・福祉相談、就労・作業所、弁当屋などさまざまな形で

《今、この教会では...》

東京聖マリア教会 当教会は、三ツ木聖公会の名でこの地に誕生し今年で宣教85周年を迎えました。近年、中東エルサレム教区のサミール・エサイド司祭を通じて、ヨルダンの視覚障害児・健全児統合学校への支援を、そして国内15ヶ所の聖マリア・聖マリア教会とは機関紙やカードを交換して交流を図っています。今年9月の日本聖公会宣教150周年記念の日には是非会場で親睦を深めたいと思っています。小さな群れの私達は何をすることも同じ顔ぶれですが、そこから生まれるパワーを基盤に、今後は新しい力を十分に活かして輪を広げていきたいと思えます。(青木ゆり)

の対応が複合的になされ、柔軟に展開されている様子、行政の支援や福祉事業の受け皿としての信頼を得ていることにも改めて驚かされました。特に、それらの働きが「社会宣教」という意識を共有することで、教会と強く結ばれるとともに、地域や社会また困難な状況にある人びとのニーズに適切にこたえる柔軟さと連携を豊かに保っているように思われました。

参加者には、教会の関係施設や社会福祉の働きに関わりや関心のある方もあり、日本に於けるそれぞれの場所での働きについて思いをわかちあう機会ともなりました。

司祭 下条裕章
(浅草聖ヨハネ教会牧師)